



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月6日

上場会社名 マナック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4364 URL <http://www.manac-inc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉之原 祥二 (TEL) 084 (954) 3330  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 杉之原 誠 配当支払開始予定日 -  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	2,424	28.1	73	—	93	—	59	—
22年3月期第1四半期	1,892	—	△57	—	△33	—	△13	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	7	38	—	—
22年3月期第1四半期	△1	63	—	—

(注) 前第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値に係る対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
23年3月期第1四半期	12,154		8,344		68.7		1,038 50	
22年3月期	12,471		8,400		67.4		1,045 42	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 8,344百万円 22年3月期 8,400百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
22年3月期	—	—	2	50	—	5	00	7	50
23年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23年3月期（予想）	—	—	2	50	—	5	00	7	50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	4,600	14.0	10	—	40	—	25	—	3	11
通期	9,500	6.6	180	37.7	270	14.9	170	△9.4	21	16

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、〔添付資料〕P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	8,625,000株	22年3月期	8,625,000株
23年3月期1Q	589,845株	22年3月期	589,819株
23年3月期1Q	8,035,173株	22年3月期1Q	8,035,646株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国の経済拡大に牽引され、景況感は回復しつつありますが、EU諸国の財政危機を起因とする円高や株安などがあり、また、国内は設備投資の停滞やデフレ圧力などにより、企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

化学業界におきましても、需要は回復基調にありますが、本格的な生産の回復には至っておらず、また他社との競争は益々激化しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経済環境下にあつて、当社グループは、当社の得意技術を更に深掘りして独自の技術とノウハウで取引先との信頼関係を築き、受注の拡大を図り、また徹底したコスト削減を図ってまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は2,424百万円（前年同四半期比+532百万円、28.1%増）となり、営業利益は73百万円（前年同四半期は57百万円の損失）、経常利益は93百万円（前年同四半期は33百万円の損失）、四半期純利益は59百万円（前年同四半期は13百万円の損失）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① ファインケミカル事業

ファインケミカル事業全体としては、依然リーマンショック前の水準には至っていないものの、緩やかな回復傾向にて推移しております。電子材料については、半導体、電子・精密機器などのハイテク分野に使用される材料は各ユーザーの在庫調整が一段落し、需要は回復傾向にあります。医薬関連製品については、経済状況に影響されることなく堅調に推移いたしました。その結果、売上高は1,351百万円、セグメント利益は167百万円となりました。

#### ② 難燃剤事業

難燃剤事業については、家電製品やIT関連製品のプラスチック分野に使われる材料が景気の回復により前年を上回る需要となり、需要に応じた生産体制が続いていることから順調に推移いたしました。その結果、売上高は790百万円、セグメント利益は77百万円となりました。

#### ③ ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業については、人工透析液剤として使用される原料は国内販売がほとんどを占める中、需要は漸増しているものの、ユーザーの生産調整などがあり、その結果、売上高は282百万円、セグメント利益は36百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 連結財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて316百万円減少し、12,154百万円となりました。これは主に有価証券・金銭の信託が172百万円減少したこと及び有形固定資産が減価償却により96百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて260百万円減少し、3,810百万円となりました。これは主に短期・長期借入金が返済により241百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて55百万円減少し、8,344百万円となりました。これは主に評価・換算差額等が株式相場の低迷や円高進行の影響により78百万円減少したことによるものです。

② 連結キャッシュ・フローの変動状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、当第1四半期連結累計期間期首に比べて916百万円減少し、964百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は133百万円となりました。

これは、販売の復調により売上債権が88百万円増加したものの、税金等調整前四半期純利益が94百万円あったこと、非資金項目である減価償却費の計上が93百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は765百万円となりました。

これは主として金銭の信託等に係る預入期間について、従来の3ヵ月内から3ヵ月超に延長したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は281百万円となりました。

これは主として借入金の返済と配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月21日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
(資産除去債務に関する会計基準の適用) 当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 なお、この会計基準の適用に伴う損益に与える影響はありません。 (四半期連結損益計算書) 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	765,013	758,842
受取手形及び売掛金	3,076,413	2,991,754
有価証券	737,954	1,410,787
金銭の信託	1,250,000	750,000
商品及び製品	982,405	1,068,493
仕掛品	441,476	385,468
原材料及び貯蔵品	439,958	452,192
繰延税金資産	57,761	84,158
その他	62,503	73,711
貸倒引当金	△2,768	△2,503
流動資産合計	7,810,718	7,972,906
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,178,552	1,209,035
機械装置及び運搬具(純額)	679,103	747,318
土地	1,146,675	1,146,717
建設仮勘定	35,856	30,392
その他(純額)	82,430	85,995
有形固定資産合計	3,122,619	3,219,460
無形固定資産	5,718	6,012
投資その他の資産		
投資有価証券	783,877	869,882
関係会社長期貸付金	110,950	111,100
繰延税金資産	118,647	82,520
その他	202,836	209,841
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	1,215,712	1,272,745
固定資産合計	4,344,050	4,498,217
資産合計	12,154,768	12,471,123

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,055,551	1,097,594
短期借入金	1,197,564	1,374,864
未払法人税等	11,223	51,539
賞与引当金	64,863	92,401
その他	525,081	409,639
流動負債合計	2,854,283	3,026,038
固定負債		
長期借入金	447,986	511,976
退職給付引当金	221,095	225,885
役員退職慰労引当金	54,729	55,329
負ののれん	152,033	162,168
その他	80,111	89,602
固定負債合計	955,955	1,044,961
負債合計	3,810,238	4,071,000
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	4,976,135	4,953,132
自己株式	△243,339	△243,328
株主資本合計	8,438,146	8,415,154
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△43,999	10,740
為替換算調整勘定	△49,618	△25,772
評価・換算差額等合計	△93,617	△15,031
純資産合計	8,344,529	8,400,122
負債純資産合計	12,154,768	12,471,123

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,892,726	2,424,770
売上原価	1,556,740	1,937,300
売上総利益	335,985	487,470
販売費及び一般管理費	393,632	413,792
営業利益又は営業損失(△)	△57,646	73,677
営業外収益		
受取利息	1,866	1,520
受取配当金	6,943	6,501
負ののれん償却額	9,465	10,135
受取ロイヤリティー	8,843	8,843
その他	7,281	7,533
営業外収益合計	34,400	34,534
営業外費用		
支払利息	5,411	7,824
為替差損	—	6,319
デリバティブ評価損	2,307	—
その他	2,353	560
営業外費用合計	10,072	14,705
経常利益又は経常損失(△)	△33,318	93,506
特別利益		
前期損益修正益	12,636	—
固定資産売却益	—	6
投資有価証券売却益	—	1,491
その他	72	—
特別利益合計	12,708	1,497
特別損失		
固定資産除却損	1,972	1,003
ゴルフ会員権評価損	648	—
その他	600	—
特別損失合計	3,220	1,003
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,830	94,000
法人税、住民税及び事業税	14,987	9,003
法人税等調整額	△25,726	25,725
法人税等合計	△10,738	34,728
少数株主損益調整前四半期純利益	—	59,272
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,091	59,272



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,830	94,000
減価償却費	120,990	93,200
負ののれん償却額	△9,465	△10,135
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9,100	△600
賞与引当金の増減額(△は減少)	△41,561	△27,537
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,543	△4,789
貸倒引当金の増減額(△は減少)	528	265
受取利息及び受取配当金	△8,810	△8,021
支払利息	5,411	7,824
為替差損益(△は益)	—	7,297
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,491
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,972	997
売上債権の増減額(△は増加)	△3,392	△88,701
たな卸資産の増減額(△は増加)	57,943	34,786
仕入債務の増減額(△は減少)	△59,400	△40,845
その他	△347	131,722
小計	27,394	187,972
利息及び配当金の受取額	8,810	7,748
利息の支払額	△5,411	△7,840
法人税等の支払額	△19,952	△54,713
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,839	133,167
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△40,770	△90,817
定期預金の払戻による収入	30,677	40,800
金銭の信託の取得による支出	—	△700,000
有形固定資産の取得による支出	△41,446	△24,350
投資有価証券の取得による支出	△3,262	△2,713
投資有価証券の売却による収入	16,999	11,291
子会社株式の取得による収入	225,440	—
貸付金の回収による収入	1,500	150
その他	—	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	189,138	△765,591
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△78,824	△180,899
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△55,472	△60,390
自己株式の取得による支出	△130	△10
配当金の支払額	△20,089	△40,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,516	△281,476
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△2,717
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	145,461	△916,618
現金及び現金同等物の期首残高	1,877,496	1,881,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,022,958	964,516

（4）継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）  
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	ファインケミカル事業 (千円)	難燃剤事業 (千円)	ヘルスサポート事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,084,969	458,967	348,789	1,892,726	—	1,892,726
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	1,084,969	458,967	348,789	1,892,726	(—)	1,892,726
営業利益又は営業損失（△）	98,592	12,062	43,090	153,746	(211,392)	△57,646

（注）1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
ファインケミカル事業	機能性材料及び医薬品とそれらの中間体
難燃剤事業	プラスチック用難燃剤
ヘルスサポート事業	人工透析液用原料

3. 当社グループは当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期数値の算出は行っておりません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品の種類別に「ファインケミカル事業」「難燃剤事業」「ヘルスサポート事業」の3つに事業を区分し、それぞれが戦略を立案して事業活動を展開しております。これら3つの事業区分とそれらにおける主要製品は以下のとおりです。

ファインケミカル事業……機能性材料及び医薬品とそれらの中間体  
 難燃剤事業……プラスチック用難燃剤とそれらの関連製品  
 ヘルスサポート事業……人工透析液用原料

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,351,854	790,286	282,630	2,424,770
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,351,854	790,286	282,630	2,424,770
セグメント利益（営業利益）	167,460	77,144	36,183	280,788

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	280,788
全社費用（注）	△207,111
四半期連結損益計算書の営業利益	73,677

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

該当事項はありません。